

みんなでつくろう 江戸川区 みんなでつくろう 池袋駅周辺の街づくりとくべついいんかい 災害対策・街づくり特別委員会 防災と街づくり。安全で住み良い 江戸川区をつくるための委員会 としけいかくしんぎかい 都市計画審議会 未来の江戸川区をどのような街にしたいかを話し合う審議会

建

けんせついいんかい 建設委員会

住宅や道路、私たちの街や川、 堤防などについて話し合う委員会

委員会には5つの「常任委員会」と、必要な時に置かれる「特別委員会」があります。議員は必ずどれか1つの常任委員会に入ることが義務付けられていますが、前年度は「建設委員会」に所属しました。建設委員会では、主にスーパー堤防に関する陳情について話し合いを重ねました。高規格堤防は国と東京都、江戸川区をあげての一大プロジェクトです。区の7割が海拔0メートルと言われる江戸川区で、激甚化する自然災害に対応するためにも安全に避難できる高所を整備するのは早急の課題です。

篠崎第二小学校でたびたび開催される住民説明会にも参加しながら、堤防の施工方法は本当にベストな工法なのか、また、区画整理の対象となって引越しをしなくてはならない住民、特にご高齢の方の精神的負担はどうなのか、そといった問題を真剣に議論しました。時間のかかるプロジェクトですが、丁寧な議論を重ねてお互いの理解のもと進めていく必要があると感じています。



のか、また、区画整理の対象となって引越しをしなくてはならない住民、特にご高齢の方の精神的負担はどうなのか、そといった問題を真剣に議論しました。時間のかかるプロジェクトですが、丁寧な議論を重ねてお互いの理解のもと進めていく必要があると感じています。



災

さいがいたいさく・まちづくりとくべついいんかい 災害対策・街づくり特別委員会

防災と街づくり。安全で住み良い 江戸川区をつくるための委員会

地震や風水害などの大災害に備えられるようハード面での整備が必要な一方で、平時のときには区民が暮らしやすく楽しい江戸川区にするために、他自治体の事例も参考にしながら、江戸川区らしい街づくりを推進していく必要があります。この委員会では、防災からシティプロモーションまで幅広い視点で議論しました。



視察で訪れた豊島区・池袋駅周辺の街づくりでは、アートやアニメを中心とした街づくりが印象的でした。江戸川区でもSDGsフェスや区民のみなさんによるさまざまなイベントが開催されていますが、新しい文化をどのように創造していくか、子ども達や若者のアイデアをもっともっと区政の施策に生かしていくべきだと思います。

しかし、やはり楽しいことはお金もかかります。適切な税の使い道として採算が取れない施策は見直さなくてはなりませんし、シティプロモーションは効果が見えにくいという側面もあるので、金額的な側面もしっかりとチェックしていくべきだと思います。



中

エスディージーズちゅうがくせいいかい SDGs 中学生議会

区内の中学生がSDGsの視点で 検討したことを議会で発表します

江戸川区内の全33校から1名ずつ選ばれた中学生が、国連が掲げるSDGs（持続可能な開発目標）への理解を深めながら、江戸川区の未来にむけて自分たちには何ができるか考え、2023年11月11日に議場で区に提案を行いました。現在、SDGsをテーマにしたこども議会を開催しているのは、23区内で江戸川区だけと、国内を見ても珍しい取り組みです。この議会は会派を超えて区議会が所属している「江戸川区SDGs議員連盟」が企画し、新人を中心とした10名の議員が参加しました。

私は葛西地区の担当でしたが、皆さん優秀で驚きました。メンバーからはいろいろな意見が飛び出してきて、それをリーダーが取りまとめ、自然と議事録をとってくれる子も出てきました。参加した中学生にとって実りある経験にするためにも、ほかの自治体の事例を参考にしながら、行政と連携をとって進めていきたいと考えています。



新

しんちょうしゃぎかいふろあけんとういいんかい 新庁舎議会フロア検討委員会

議場のレイアウトや委員会室、 議員の控室などについて議論しました

令和12年に船堀に完成予定の新しい区役所（開庁は令和13年1月予定）は、地上約99メートル、21階建の高層建築で、議員や区議会事務局が使用するフロアは最上階の19階、20階、21階になる事が決定しています。この新庁舎の議会フロアのあり方については、私も委員として参加し、様々な面から検討を行いました。



この委員会は非公開で行われたため、具体的に示すことは難しいのですが、例えば車椅子を使用している方や、耳の不自由な方など、共生社会の実現を目指す江戸川区として、すべての方が区議会を見て、聞いて、参加できるような提案をさせていただきました。江戸川区に住むすべての人にとって開かれた議会になるよう、引き続き取り組んでいきます。



都

としけいかくしんぎかい 都市計画審議会

未来の江戸川区をどのような街に したいかを話し合う審議会

この審議会では、学識経験者、区議会議員、警察署長、消防署長、商店街や連合町会など関係団体の代表、公募の区民メンバーが参加し、街づくりや防災、公園・緑化計画などについて調査・審議します。都市計画は都市の将来の姿を決定するものであり、区民生活へも大きく影響を及ぼす重要なものです。

審議会では、船堀駅、小岩駅、平井駅の都市開発に関することや木造住宅密集地区の防災計画、農地保全などさまざまな議案について話し合いました。特に印象的だったのは、船堀駅前の都市開発に関する審議が行われた時、マスコミも含めて傍聴枠10名に対して20名以上が来庁し、江戸川区の街づくりに対する区内外の关心の高さが伺えました。新しく開発が進むエリアではタワーマンションや商業施設ができたり、これまでとは違ったイメージの江戸川区に変貌しそうです！ 議事録や詳細は上記のQRコードよりご確認ください。



文

連合東京江戸川地区協議会 & 江戸川ろう者協会 交流イベント at ボッチャ大会

江戸川ろう者協会のみなさんと パラスポーツ「ボッチャ」を楽しみました

日頃よりお世話になっている連合東京江戸川地区協議会（労働組合の方の集まり）の皆さんと、2024年3月24日(日)に小岩第二中学校体育館にて「交流イベント at ボッチャ大会」を開催しました。江戸川ろう者協会のみなさまにもご協力いただき、小岩二中の中学生も含め約60名が参加しました。



ボッチャ大会は大盛り上がりで、一投ごとに歓声があがり、プレー終了後は各グループで表彰式を行いました。その後のランチ懇親会では、労働組合の方々もろう者の皆さんもたくさん話して交流をさらに深め、一緒に楽しい時間を過ごすことができました。障がいの有無にかかわらず、こんなに距離が縮まるのだと実感できた、すてきな1日でした。

